

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について

30 歳くらいの女性。優しくそうな方で、ずっとにこやかに面接を進めてくださいました。

2. 通訳ガイド(以下 TG)について

60 歳くらいの男性。紳士的な方でしたが、表情はずっと厳しいままで、事務的に説明文を読み上げているという感じでした。

【面接試験の実際】

割と広めの部屋に入ると外国人、日本人の試験官が入り口に向かって座っていました。試験官と受験者の間にはテーブルはなく、受験者側に3つの椅子、そのうちの一番左にある椅子の上に紙バサミに挟まれた用紙とボールペンが置いてありました。右に荷物を置き、真ん中に座るように言われました。

1. 通訳試験について

| | |
|---------|---|
| | 名前しか聞かれず、すぐに通訳問題に入りました。用意されている紙とペンを使ってよい、と言われました。 |
| 出題された文章 | 日本人が好む余暇の一つとして、温泉旅館に滞在することが挙げられる。温泉は病気の治療に効き目があると言われている。温泉に浸かり、山々の景色を眺めるのが好きな人もいます。 |

2. 2 分間プレゼンテーションについて

| | |
|----|--|
| TG | プレゼンは2分間で、1分たったところで合図をいれる、用意されている紙とペンを使ってもよい、という説明がありました。 |
| | (1)絵馬 (2)富士山 (3)19世紀に日本に起こった大きな変化 |
| I | 上記三つのうち、富士山を選択しました。 話した大体的内容は下記のようなものです。 「富士山は日本で最も高く、最も美しい山。完璧な円錐形をしており、その美しさから、昔から信仰の対象となってきた。今年、世界遺産に登録された。そのこともあって、世界中から多くの観光客が訪れ、夏の7月8月には30万人もの人が登山した。また、富士山は芸術的なインスピレーションを与えてくれるものでもあり、芸術家が多くの作品にしてきた。それらの作品は海外にもたらされ、西洋絵画にも影響を与えた。」 |

3. 質疑応答について

| | |
|----|--|
| NS | 富士山の絵はどこで見ることができるか？ |
| I | 原宿にある太田記念美術館。そこには浮世絵のすばらしいコレクションがある。 |
| NS | 富士山はどこから見たらいいか？ |
| I | 山中湖や河口湖など富士山周辺で見ることができるが、一番いいのは三保の松原である。そこでは美しい海岸線と富士山を一緒にみることができる。 |
| NS | どのように行くのか？ |
| I | 近くに新幹線の駅があるので、そこまで新幹線で行き、そこからバスかタクシー。 |
| NS | 富士山に行くのはいつがいいか？ |
| I | 冬がいい。特に1月、2月だときれいな姿を見ることができる。 質問を投げかけてきたのは、NS だけでした。質問をするだけで、メモを取ったり、ということはありませんでした。 TG はメモを取ったり、うなずいたりして、会話に入ってきたり、追加の質問をしたりということはありませんでした。 |